



ウィリアム・ホガース「講義を聴く学生」(1736)

所蔵資料

資料室で取り扱う資料には、貴重図書、準貴重図書、特別資料（古文書、一次資料など）、博士論文（経済学研究科分）などがあります。

古典籍、博物資料など

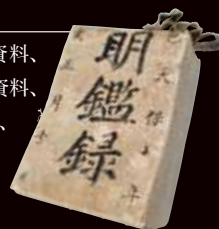
アダム・スミス文庫、エンゲル文庫、オウエン文庫、メンガー文庫、和漢洋古書、明治期社会経済文献、古貨幣・古札コレクションなど

官庁関係資料

小運送関係「鉄道省文書」、国鉄再建監理委員会資料、戦時海運資料、戦時税制資料、公企業会計関係資料、イギリス鉄道関係資料など

企業資料・民間資料・私文書

浅田家文書、石川一郎文書、営業報告書、華北交通資料、国労関係資料、白木屋文書、新左翼関係資料、台湾電力資料、土屋家旧蔵文書、山一証券資料、横濱正金銀行資料、吉田力・佐世保重工業関係資料、鉦山史料、ハロッド・ケインズ書簡集、マルクス自筆書簡など



明鑑録（白木屋文書）

表紙：マルクス自筆書簡(1878)【背景】および 伊達宗村領知朱印状（土屋家旧蔵文書）



開室時間

●平日 午前10時～午後4時30分まで
※出納時間
午前10時～午前11時45分、午後1時～午後4時
複写最終受付時間 午後3時30分

Opening hours

Mon-Fri 10:00am-4:30pm
Stacks request:
10:00am-11:45am, 1:00pm-4:00pm
Copy service:
10:00am-11:45am, 1:00pm-3:30pm

休室日

- 土曜日、日曜日および祝日
- 東京大学記念日（4月12日）
- 年末年始（12月28日～1月4日）
- 毎月月末、12月第3日曜日
- （月末が土曜日、休日の場合はその前日）

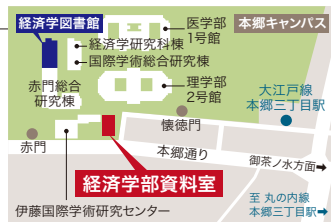
※このほか入試等で臨時に閉室する場合があります

Holidays

Saturdays, Sundays, National holidays
University Anniversary (Apr. 12)
New Year holidays (Dec. 28- Jan. 4)
Inventory days
(the last weekday of each month and the 3rd Monday in Dec.)
Aside from those days above, Shiryō-shitsu can be closed occasionally. Further details will be provided by the time of making reservation.

アクセス

- 本郷三丁目駅（東京メトロ丸ノ内線）徒歩約6分
- 本郷三丁目駅（都営地下鉄大江戸線）徒歩約5分
- 湯島駅（東京メトロ千代田線）徒歩約15分
- 根津駅（東京メトロ千代田線）徒歩約20分
- 東大前駅（東京メトロ南北線）徒歩約20分



東京大学 経済学部資料室

<http://www.lib.e.u-tokyo.ac.jp>

Instagram @utokyo_rhco

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学大学院経済学研究科学術交流棟（小島ホール）3階
電話：03-5841-0677 FAX：03-5841-5531 E-mail：shiryo@e.u-tokyo.ac.jp
7-3-1 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0033 JAPAN Fax：+81-3-5841-5531

※学外者の方は、利用に際して事前にお問い合わせください

2019年3月発行

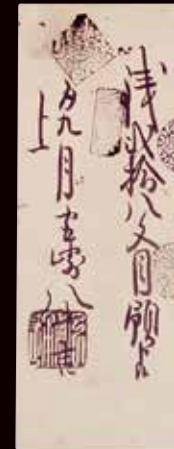
東京大学 経済学部資料室

Resources and Historical Collections Office (Shiryō-shitsu), The Library of Economics, The University of Tokyo



「和同開珎」銀銭
(藤井コレクション)

弘前藩銭札
(安田コレクション)



上代方金
(藤井コレクション)



上代判金
(藤井コレクション)



明治六年埃國博覧會出品寫真（準貴重図書）



十組呉服問屋株帳
(白木屋文書)



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO



山一証券資料

経済学部資料室について

東京大学経済学部資料室の淵源は法科大学に開設された商業資料文庫にまで溯ります。以後、約1世紀の間に幾多の変遷を経て、現在では、経済学研究科学術交流棟（小島ホール）3階に設置されています。この建物は小島グループ代表・小島隼次郎氏からの寄附に基づき平成21（2009）年に建設されたもので、「図書館の整備のため」という寄附の趣旨にのっとり、東京大学経済学図書館が所蔵する貴重な原資料を保存・管理するための施設として様々な工夫が施されています。資料室は平成22（2010）年2月にこの建物へ移転し、同年4月から正式に業務を開始しました。



資料閲覧室



関東大震災前の蔵書印



資料保存庫

In 2010 Resources and Historical Collections Office (Shiryō-shitsu) made a new start in the newly built Economic Research Annex (Kojima Hall). Special materials, such as rare books, historical collections, manuscripts and primary documents are available for inspection here.



アダム・スミス文庫【後方】、
神聖ローマ皇帝カール6世
認可証【手前】（貴重図書）

略年表

1900	1913	1919	1923	1939	1954	1967	2009	2010
明治 33年	大正 2年	大正 8年	大正 12年	昭和 14年	昭和 29年	昭和 42年	平成 21年	平成 22年

法科大学内に経済統計研究室を設置する

法科大学内に商業資料文庫を開設する

法科大学より経済・商業二学科を分離独立させ
経済学部を設置する

（関東大震災によって建物焼失）
商業資料文庫を経済学部資料室に改称する

経済学部資料室を再設置する

（現日本経済国際共同研究センター）の附属施設となる

経済学部資料室と経済学部文書室を統合して

経済学部図書館を経済学図書館に改称する

施設・設備

施設内は温湿度管理や紫外線の遮断など、資料の保存環境に最大限配慮したものになっています。さらに、二酸化炭素による殺虫処理装置や酸性紙を中和する脱酸性化処理設備など、必要最低限の保存処置を施せる設備を導入しています。



酸性紙の脱酸性化処理



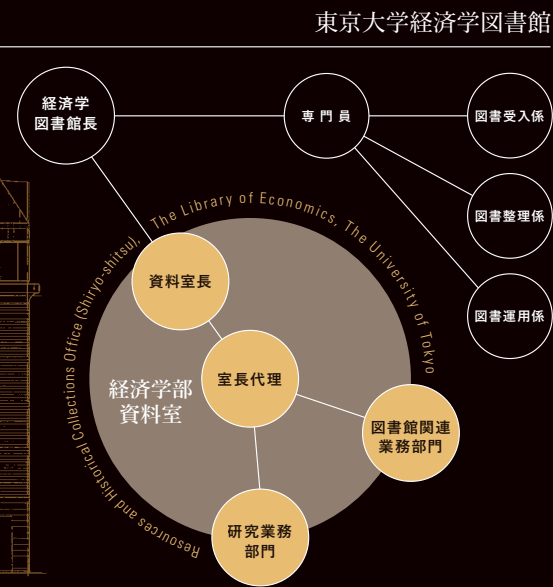
二酸化炭素による殺虫処理

劣化資料への対策

貴重な資料の中には、酸性劣化等で利用困難なものも多くあり、その利用において保存処置は切り離すことができません。資料室は、経済学図書館が有するコレクション全体の維持管理（preservation）を担当する部署として、修復の技術者・設備を有するだけでなく、デジタル化等による代替物作製も積極的に進めています。



組織



調査・研究と資料保存活動

資料室では広く資料に関する調査・研究を行い、報告書や論文等で成果を公開し、これらに基づいた教育普及・社会還元を務めています。

刊行物

- 『東京大学経済学部資料室年報』（平成21年度～）
- 『東アジア古文書学の構築－現状と課題－』（2018.3）
- 『マイクロフィルム状態調査報告書』（2009.3）
- 『印影からみた山一證券の百年』（2008.11）
- 『山一證券資料と企業資料の保存』（2007.11）
- 『蔵書劣化調査報告書』（2006.1）

このほか各種目録類や研究成果を随時刊行しています。



デジタルアーカイブ

「利用のための保存」という課題に対して、デジタル化という方策は欠かせません。資料室では、国内外の古典籍だけでなく、営業報告書をはじめとする灰色文献や官・民に残された文書類、さらには古貨幣といった博物資料にいたる、様々な形態の資料を対象として、デジタルアーカイブの構築を進めています。

2010年の開室から2017年度末までに、約2万点の資料をデジタル化（約149万画像）したほか、約1万点の資料をマイクロフィルム化し、順次公開する準備を整えています。



西洋古典籍デジタルアーカイブで公開中のアダム・スミス『国富論』初版本（貴重図書）

ご寄附のお願い

皆様からいただいた寄附金は、当リーフレット掲載の諸活動にあてられています。これまでのお力添えに心より感謝申し上げます。現在、次の100年の資料保存を見すえて、以下のようにさらなる寄附を募りたく、いっそうのご支援をお願いいたします。

- ①資料保存のための資金**
資料保存（デジタル化を含む）には1ページあたり約100円の経費が必要です。ワンコインの寄附が歴史資料の保存・修復・デジタル化への第一歩につながります。
- ②人材の雇用・育成のための資金**
研究者や技術者の雇用・育成のための資金を必要としています。皆様のご支援は、次世代を担う若手の安定雇用、そして資料や保存技術を未来に伝えるための礎です。

寄附はインターネット上での決済も可能です。詳細は直接お問い合わせいただくか、QRコードを読み取って専用ページにアクセスしてください。なお、当室への個人からの寄附は税制上の寄附控除の対象となります。また、寄附者の方々には東京大学や当室よりイベント等のご案内を差し上げます。

